

独立変数は「健診対象児の出生順位」「出産時の母親の年齢」「妊娠・出産時の満足度」「児の栄養法（1ヶ月時）」「母親の現在の就労状況」「現在の子育て満足度」「現在の父子関係（お父さんはお子さんとはよく遊んでいますか）」とした。なお上記の変数に欠損値があるケースは分析対象から除外した。最終的に4,953名を分析対象とした。このカテゴリカル回帰分析の結果を表4に、各変数の数量化値を表5-1～5-8にまとめた。

表4. カテゴリカル回帰分析の結果
(全年齢対象 n=4,953)

	標準化係数	
	ベータ	標準誤差
健診対象児の出生順位*	.572	.011
出産時の母親の年齢*	.139	.012
現在の子育て満足度*	.093	.013
妊娠・出産の満足度*	.078	.012
児の栄養法（1ヶ月時）*	.058	.012
現在の父子関係*	.057	.011
母親の現在の就労状況*	.052	.011

調整済み R² = .416

*: p<.001

表5-1. 次子の挙児希望（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
はい	1839	-1.112
どちらかといえば、はい	1306	-.061
どちらかといえば、いいえ	876	.857
いいえ	932	1.476

表5-2. 出産時の母親の年齢（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
第1子	2256	-1.039
第2子	1813	.575
第3子	731	1.473
第4子以上	153	1.473

表5-3. 出産時の母親の年齢（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
19歳以下	66	-1.315
20～24歳	550	-1.315
25～29歳	1507	-.587
30～34歳	1804	-.004
35～39歳	917	1.408
40歳以上	109	3.771

表5-4. 現在の子育て満足度（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
満足している	2381	-.890
まあ満足している	2338	.597
あまり満足していない	205	3.088
満足していない	29	3.088

表5-5. 妊娠・出産の満足度（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
とても満足している	1967	-1.108
満足している	2719	.557
満足していない	236	2.344
全く満足していない	31	3.586

表5-6. 児の栄養法（1ヶ月時）（名義尺度）

カテゴリ	度数	数量化
母乳	2454	-.863
人工乳	272	2.936
混合	2227	.592

表 5-7. 現在の父子関係 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
よく遊んでいる	3173	-.658
時々遊ぶことがある	1627	.927
ほとんど遊ばない	153	3.777

表 5-8. 母親の現在の就労状況 (名義尺度)

カテゴリ	度数	数量化
働いている	472	-2.385
育児休業中である	1204	-.847
働いていない	3277	.655

つぎに、健診対象児を出産したときの母親の年齢が 19 歳以下のケースを抽出し同様の分析を行った。最終的に 66 名を分析対象とした。このカテゴリカル回帰分析の結果を表 6 に、各変数の数量化値を表 7-1~7-7 にまとめた。

表 6. カテゴリカル回帰分析の結果
(出産時の母親の年齢≤19 n=66)

	標準化係数	
	ベータ	標準誤差
健診対象児の出生順位	.024	.296
現在の子育て満足度*	.720	.336
妊娠・出産の満足度	-.049	.096
児の栄養法 (1ヶ月時)	.079	.173
現在の父子関係	.094	.190
母親の現在の就労状況	.297	.240

調整済み R2 = .521 *: p<.05

表 7-1. 次子の育児希望 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
はい	45	-.190
どちらかといえば、はい	16	-.144
どちらかといえば、いいえ	3	-.144
いいえ	2	5.656

表 7-2. 出産時の母親の年齢 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
第 1 子	59	-.297
第 2 子	6	1.865
第 3 子	1	6.319

表 7-3. 現在の子育て満足度 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
満足している	44	-.130
まあ満足している	19	-.130
あまり満足していない	2	.051
満足していない	1	8.058

表 7-4. 妊娠・出産の満足度 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
とても満足している	39	-.832
満足している	23	1.191
満足していない	4	1.263

表 7-5. 児の栄養法 (1ヶ月時) (名義尺度)

カテゴリ	度数	数量化
母乳	42	.670
人工乳	5	.321
混合	19	-1.566

表 7-6. 現在の父子関係 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
よく遊んでいる	43	-.731
時々遊ぶことがある	20	1.367
ほとんど遊ばない	3	1.367

表 7-7. 母親の現在の就労状況 (名義尺度)

カテゴリ	度数	数量化
働いている	4	-.115
育児休業中である	5	3.490
働いていない	57	-.298

つぎに、健診対象児を出産したときの母親の年齢が 35 歳以上のケースを抽出し同様の分析を行った。最終的に 1026 名を分析対象とした。このカテゴリカル回帰分析の結果を表 8 に、各変数の数量化値を表 9-1~9-7 にまとめた。

表 8. カテゴリカル回帰分析の結果

(出産時の母親の年齢 ≥ 35 $n=1,026$)

	標準化係数	
	ベータ	標準誤差
健診対象児の出生順位**	.552	.025
現在の子育て満足度**	.084	.031
妊娠・出産の満足度**	.092	.028
児の栄養法 (1ヶ月時) **	.082	.026
現在の父子関係**	.086	.025
母親の現在の就労状況**	.072	.025

調整済み R2 = .329 * : $p < .005$ ** : $p < .001$

表 9-1. 次子の挙児希望 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
はい	208	-1.505
どちらかといえば、はい	256	-.632
どちらかといえば、いいえ	217	.465
いいえ	345	1.084

表 9-2. 出産時の母親の年齢 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
第 1 子	319	-1.418
第 2 子	412	.328
第 3 子	235	1.074
第 4 子	60	1.074

表 9-3. 現在の子育て満足度 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
満足している	469	-.750
まあ満足している	501	.302
あまり満足していない	46	3.577
満足していない	10	3.577

表 9-4. 妊娠・出産の満足度 (順序尺度)

カテゴリ	度数	数量化
とても満足している	380	-1.114
満足している	589	.452
満足していない	49	2.760
まったく満足していない	8	2.760

表 9-5. 児の栄養法 (1ヶ月時) (名義尺度)

カテゴリ	度数	数量化
母乳	427	-1.108
人工乳	72	2.038
混合	527	.620

表 9-6. 現在の父子関係（順序尺度）

カテゴリ	度数	数量化
よく遊んでいる	622	-.707
時々遊ぶことがある	368	.849
ほとんど遊ばない	36	3.536

表 9-7. 母親の現在の就労状況（名義尺度）

カテゴリ	度数	数量化
働いている	117	.437
育児休業中である	269	-1.675
働いていない	640	.624

D. 考察

3-4ヶ月健診時における母親の次子の挙児希望に影響を与える因子を探索することを目的に、健診対象児を出産した時の母親の年齢別に、3つのカテゴリカル回帰分析（全年齢、19歳以下、35歳以上）を行った。全年齢を対象とした分析の結果、最も大きな標準化係数を示したのは「健診対象児の出生順位（ベータ＝.572）」であった。これは、35歳以上の母親における結果とほぼ一致する。一方、19歳以下の母親における分析の結果、最も大きな標準化係数を示したのは「現在の子育て満足度」であった。次子の挙児希望には、児の出生順位、出産時の母親の年齢が大きく影響するのは、家族計画的には、常識的な結果であるといえる。一方、若年で出産した母親の場合、そのほとんどのケースが第1子を出産した者であったため、「健診対象児の出生順位」における標準化係数は有意でなかったと考えられる。若年で出産した母親における次子の挙児希望に影響を与える因子として「現在の子育て満足度」が重要であることが示唆された。若年で妊娠・出産した母親の次子の挙児希望を高めていくアプローチとしては、この「現在の子育て満足度」に着目した取組が有効であると考えられる。

親と子の健康度調査アンケートのお願い

厚生労働科学研究費補助金・子ども家庭総合研究事業

主任研究者 山縣然太朗（山梨大学医学部医学科社会医学講座）

21世紀の子どもと親の健康づくりを進める国民運動計画として、厚生労働省の検討会により「健やか親子 21」が策定されて9年目を迎えました。この間に子どもと親の心身の健康状態が、どれくらい改善されたかを明らかにし、今後のサービスの充実に役立てるために、「健やか親子 21」中間評価の一環として、調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、お子さんの健康度などについてのアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。ご記入いただいた内容は、集計して分析に用いるほか、自治体によっては今回の健診にも活用されますが、その他の目的には使用いたしません。ご記入いただいたアンケートは、健診会場で係員にお渡しください（返信用封筒が渡されている場合は、それを用いて返信してください）。

なお、このアンケートで「お子さん」というのは、今回、3歳児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

問1 お子さんは何番目のお子さんですか。

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降（ ）

問2 お子さんの性別 男 ・ 女

このお子さんを妊娠、出産した時の状況について、お伺いします。

問3 出産はどこでされましたか。

1. 病院 2. 診療所（産科医院） 3. 助産所 4. その他（ ）

問4 出産された時のお母さんの年齢

1. ～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～34歳
5. 35～39歳 6. 40歳～

問5 お子さんの出生時の妊娠期間と体重を教えてください（母子健康手帳でご確認ください）。

妊娠期間 _____ 週 体重 _____ g

問6 妊娠・出産についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している 2. 満足している
3. 満足していない 4. 全く満足していない

問7 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問8 あなた（お母さん）が妊娠しているとわかった時の、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問9 妊娠中のあなた（お母さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問10 あなた（お母さん）が妊娠中、夫（お父さん）の喫煙はどうでしたか。

1. なし 2. あり（1日 本）

問11 妊娠しているとわかった時の、あなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 月に1～2回 2. 週に1～2回 3. 週3回以上

問12 妊娠中のあなた（お母さん）の飲酒はどうでしたか。

1. なし 2. あり

- ↳ 1. 妊娠中に10回未満 2. 月に1～2回
3. 週に1～2回 4. 週3回以上

問13 1歳になるまでの間、お子さんを寝かせ始める時は、どのように寝かせていましたか。

1. あおむけ寝 2. うつぶせ寝 3. 決めていない 4. その他（ ）

現在の子育ての状況についてお伺いします。

問14 現在の子育ての状況はいかがですか。

1. 満足している 2. まあ満足している
3. あまり満足していない 4. 満足していない

問15 現在、お母さんは働いていますか。

1. 働いている 2. 育児休業中である 3. 働いていない

問16 お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問17 お母さんは育児に自信が持てないことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問18 お母さんは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

↳それは、どのようなことですか。（いくつ〇をつけてもかまいません）

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置

3. しつけのし過ぎ 4. 感情的な言葉 5. その他 ()

問 19 お父さんは育児をしていますか。

1. よくやっている 2. 時々やっている
3. ほとんどしない 4. 何ともいえない

問 20 お父さんはお子さんとよく遊んでいますか。

1. よく遊んでいる 2. 時々遊ぶことがある 3. ほとんど遊ばない

問 21 お母さんにとって日常の育児の相談相手は誰ですか。

(いくつかをつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する 2. 祖母 (または祖父) 3. 近所の人 4. 友人
5. かかりつけの医師 6. 保健師や助産師 7. 保育士や幼稚園の先生
8. 電話相談 9. インターネット
10. その他 () 11. 誰もいない

問 22 かかりつけの医師はいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

問 23 休日や夜間にお子さんが急病の時、診察してもらえる医療機関を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

問 24 あなたは心肺蘇生法 (心臓マッサージなどの救急処置) を知っていますか。

1. 知っている 2. 少し知っている 3. 知らない

問 25 これまでに乳幼児健診は主にどこで受けましたか。

1. 保健センターや保健所の集団健診 2. 開業医・診療所 3. 病院
4. 受けていない 5. その他 ()

問 26 健診についての状況はいかがでしたか。

1. とても満足している 2. 満足している
3. 満足していない 4. 全く満足していない

問 27 健診を受けた感想はいかがですか。(あてはまるもの全て○をつけてください)

1. 信頼がおけて安心できた 2. 医師や保健師の話が勉強になった
3. 栄養士の話がためになった 4. 心理士の相談がためになった
5. もっとゆっくりした時間が欲しかった 6. 個別の相談がしたかった
7. 決まりだから受けた 8. 知っていることばかり教えられた
9. 形式的だった 10. 友達ができて良かった 11. その他 ()

問 28 お母さんの現在の喫煙はどうか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問 29 お父さんの現在の喫煙はどうか。

1. なし 2. あり (1日 本)

問 30 子どもの事故について、お尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください

1) 子どもを家に一人残して出かけることや、車の中に一人で乗せておくことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

2) 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

3) 浴槽に水をためたままにしないように注意していますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

4) 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

5) ピーナッツやあめ玉などは子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ

6) タバコや灰皿はいつも子どもの手の届かないところに置いていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

7) ストーブやヒーターなどは安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 該当しない

8) お箸や歯ブラシなどをくわえて走り回ることがありますか。

1. はい 2. いいえ

9) すべり台やブランコの安全な乗り方を教えていますか。

1. はい 2. いいえ

10) ベランダや窓の側に、踏み台になるものがありますか。

1. はい 2. いいえ

問 31 最後に、記入していただいた方のお子さんとの続柄をお書きください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました

妊娠中の妻を持つ夫の喫煙行動に関する研究

研究協力者	樋口 善之	(福岡県立大学看護学部)
	原田 直樹	(福岡県立大学附属研究所)
	内田 美智子	(内田産婦人科医院)
	内田 克彦	(内田産婦人科医院)
	岩田 美紀	(えびの共立病院)
	黒木 透	(えびの共立病院)
	羽賀田 千晶	(愛仁会看護助産専門学校)
	青儀 早耶	(愛仁会看護助産専門学校)
	中村 優希	(愛仁会看護助産専門学校)
	神戸 乃梨子	(愛仁会看護助産専門学校)
	山田 祐里江	(愛仁会看護助産専門学校)
	涌嶋 嘉子	(愛仁会看護助産専門学校)
	野間 裕子	(愛仁会看護助産専門学校)
	増本 綾子	(愛仁会看護助産専門学校)
	倉本 孝子	(愛仁会看護助産専門学校)
	渡辺 多恵子	(筑波大学大学院人間総合科学研究科)
	鈴木 茜	(千葉県市原市保健センター)
	中野 貴博	(名古屋学院大学人間健康学部)
	笠井 直美	(新潟大学教育学部)
研究分担者	原田 正平	(国立成育医療研究センター)
	松浦 賢長	(福岡県立大学看護学部)
研究代表者	山縣 然太郎	(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

本研究は、妊娠中の妻を持つ夫の喫煙行動について、妻の妊娠を契機とした喫煙行動の変化、受動喫煙に関する知識の程度、妊産婦健診・禁煙教室等への参加状況を明らかにすることを目的とした。妊娠中の妻を持つ夫 420 名を対象に自記式の調査票を配布し、166 名から有効回答を得た。得られたデータについて分析した結果、次のことが明らかとなった。1) 妊娠中の妻を持つ夫の喫煙率は 53.0%であった。2) 妊娠を契機に禁煙した者は、喫煙歴がない者を除く 115 名のうち、5 名のみであった。3) 妊娠を契機に喫煙行動が変化した割合は 54.8% (63/115) であった。4) 喫煙行動の変化の内容としては、「喫煙本数が減った」が 63.5% (40/63) と最も多くみられた。5) 妊産婦健診・両親学級等において喫煙に関する指導等を受けた者は 12.2% (14/115) であった。

A. 研究目的

健やか親子 21 では、「妊娠中の喫煙率、育児期間中の両親の自宅での喫煙率」の減少を目指しており、これらへの取組が重要な課題となっている。本研究の目的は、妊娠中の妻を持つ夫の喫煙行動について、妻の妊娠を契機とした喫煙行動の変化、受動喫煙に関する知識の程度、妊産婦健診・禁煙教室等への参加状況を明らかにすることである。

B. 研究方法

2府4県（大阪府、京都府、兵庫県、広島県、福岡県、宮崎県）に在住している、妊娠中の妻を持つ夫 420 名を対象とした自記式質問紙調査を行った。対象者への調査票の配布は、妊産婦健診を行っている医療機関等の協力を得て行った。調査項目は、喫煙習慣の有無、妊娠を契機とした喫煙行動の変化、受動喫煙に関する知識の程度、妊産婦健診・禁煙教室等への参加状況等とした。

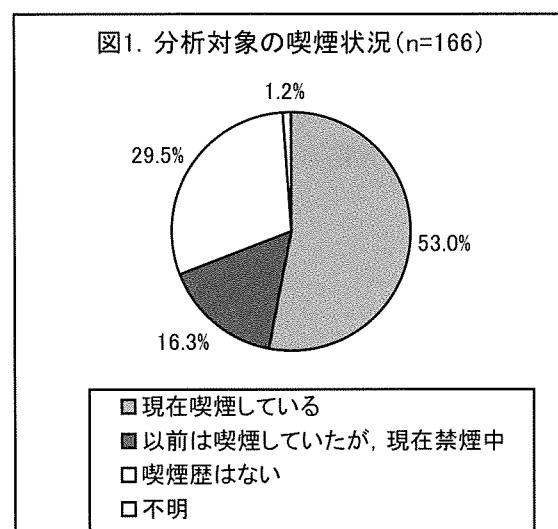
（倫理面への配慮）

調査は無記名とし、調査への協力は任意であること、回答が難しい項目があった場合には空白として構わないことを文書で提示した。

C. 研究結果

有効な回答が得られた 166 名を分析対象とした（回収率 39.5%）。分析対象の平均年齢は 32.7 歳（標準偏差 5.8）であった。

現在の喫煙習慣について、「現在喫煙している」と回答した者は、88 名（53.0%）、「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」と回答した者は 27 名（16.3%）、「喫煙歴はない」と回答した者は 49 名（29.5%）であった。回答が得られなかった者は 2 名（1.2%）であった。

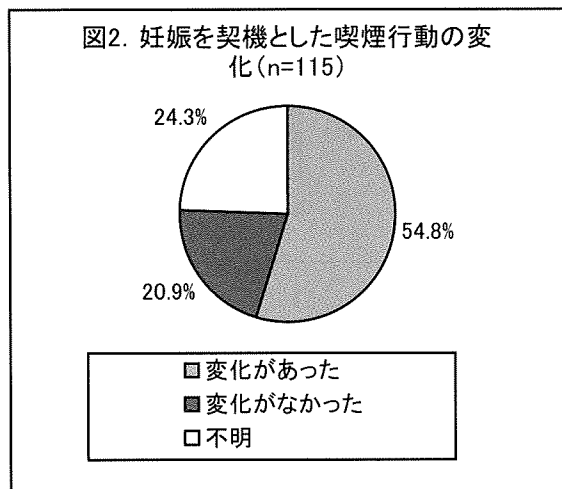


喫煙が習慣化した年齢について、「喫煙習慣がある」者においては、平均 18.7 歳（標準偏差 2.1）、「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」者においては、平均 19.9 歳（標準偏差 4.1）であった。

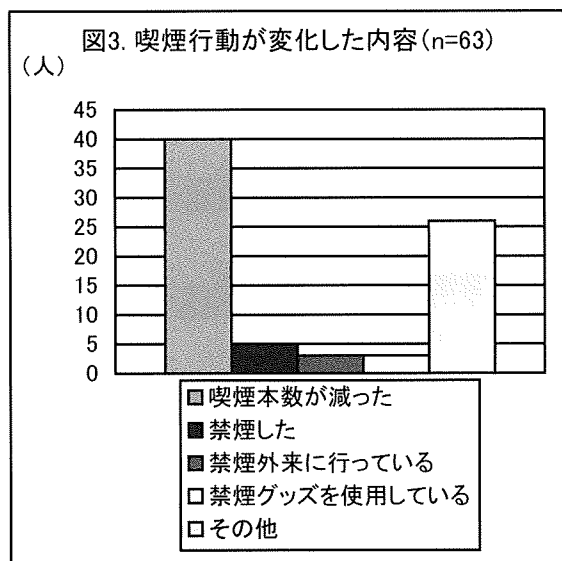
妻の喫煙状況については、「現在喫煙している」と回答した者は 9 名（5.4%）、「妊娠前は喫煙していたが、現在は禁煙中」と回答した者は 24 名（14.5%）、「喫煙歴はない」と回答した者は 125 名（75.3%）、「不明」は 8 名（4.8%）であった。夫の喫煙状況別に不磨の喫煙状況を比較すると、「現在喫煙している」者 88 名のうち、妻が「現在喫煙している」者は 7 名（9.1%）、「妊娠前は喫煙していたが、現在は禁煙している」者は 18 名（20.4%）であった。「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」者 27 名のうち、妻が「現在喫煙している」者は 1 名（3.7%）、「妊娠前は喫煙していたが、現在は禁煙している」者は 4 名（14.8%）であった。「喫煙歴はない」者 49 名のうち、妻が「現在喫煙している」者は 1 名（2.0%）、「妊娠前は喫煙していたが、現在は禁煙している」者は 1 名（2.0%）であった。

「現在喫煙している」88 名と「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」27 名の計

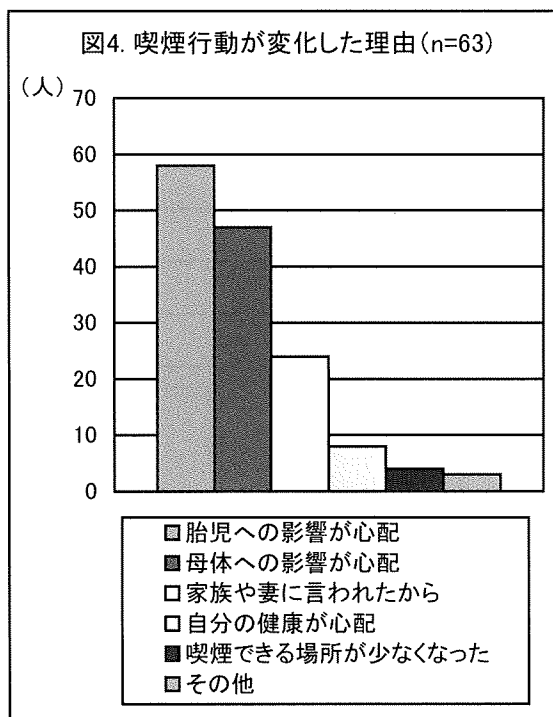
115 名を対象に、「妻の妊娠を契機に喫煙行動に変化があったか」を尋ねたところ、「変化があった」と回答した者は 63 名 (54.8%) であった。



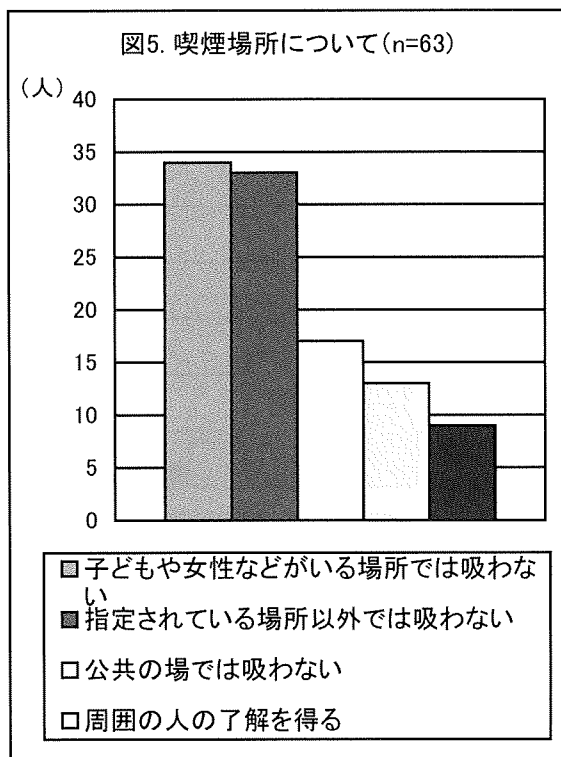
変化した喫煙行動の内容としては、「喫煙本数が減った」40 名 (63.5%)、「禁煙した」5 名 (7.9%)「禁煙外来に言っている」3 名 (4.2%)、「禁煙グッズを使用している」3 名 (4.2%) であった。



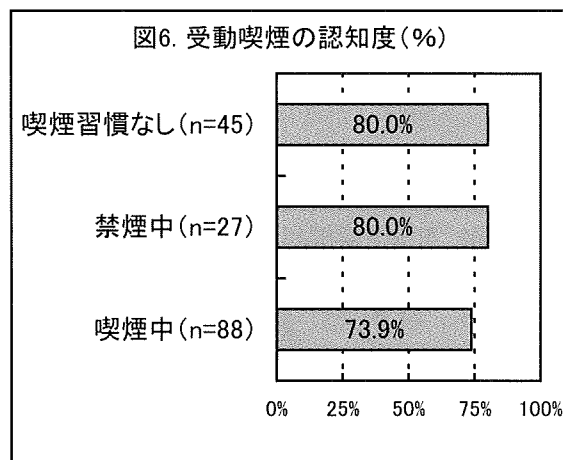
喫煙行動が変化した理由として、「胎児への影響が心配」58 名 (92.1%)、「母体への影響が心配」47 名 (74.6%)、「家族や妻に言われたから」24 名 (38.1%) であった。



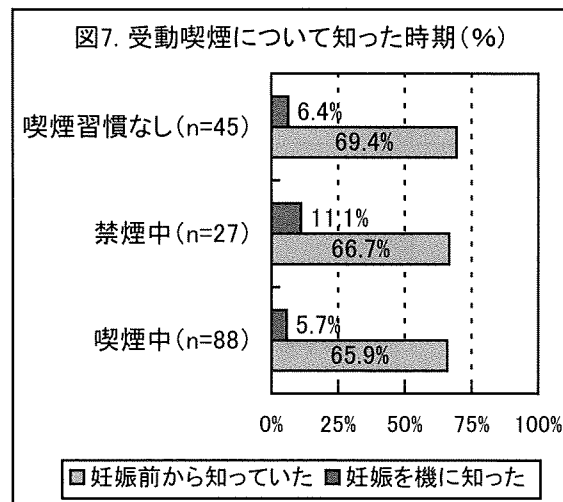
次に、「喫煙場所として気をつけていること」を尋ねたところ、「子どもや女性などがいる場所では吸わない」34 名 (54.0%)、「指定されている場所以外では吸わない」33 名 (52.4%)、「公共の場では吸わない」17 名 (27.0%)、「周囲の人の了解を得る」13 名 (20.6%) であった。



受動喫煙に関する認知度について、「喫煙習慣のある」88名のうち、「知っている」と回答した者は65名(73.9%)であった。「以前は喫煙していたが、現在は禁煙中である」27名のうち、「知っている」と回答した者は20名(80%)、「喫煙歴はない」と回答した45名において「知っている」と回答した者は36名(80%)であった。喫煙行動と受動喫煙の認知度との関連性について、 χ^2 分析により検討したところ、有意ではなかった(χ^2 値=0.819、 $p=0.664$)。

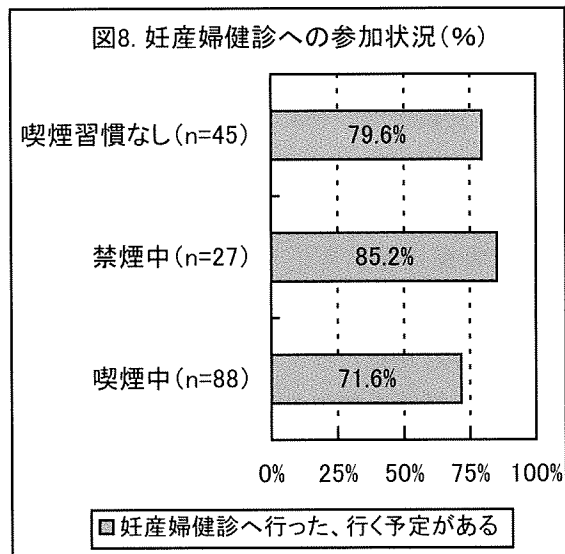


受動喫煙による母児への影響について知った時期として、「喫煙習慣がある」88名のうち、「妊娠前から知っていた」者は58名(65.9%)、「妊娠を機に知った」5名(5.7%)であった。「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」27名のうち、「妊娠前から知っていた」と回答した者は18名(66.7%)、「妊娠を機に知った」3名(11.1%)であった。「喫煙歴がない」49名のうち、「妊娠前から知っていた」と回答した者は34名(69.4%)、「妊娠を機に知った」は3名(6.1%)であった。

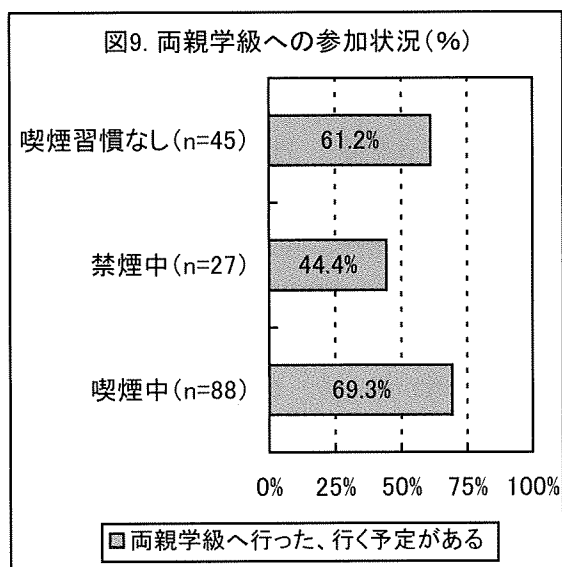


妊産婦健診への参加状況について、「喫煙習慣がある」88名のうち、63名(71.6%)が「行った、行く予定がある」と回答した。「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」と回答した27名のうち、23名(85.2%)が「行っ

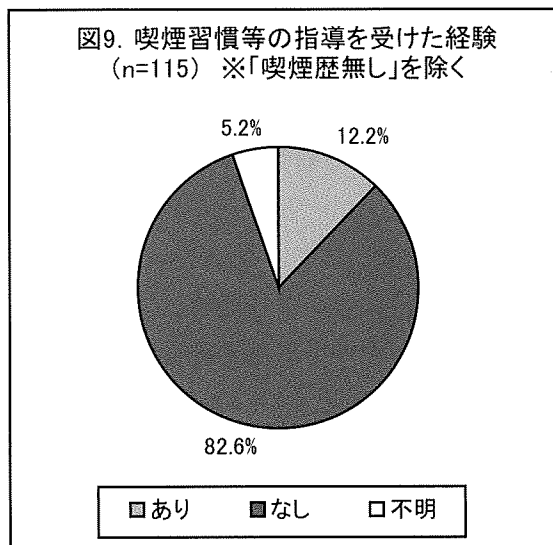
た、行く予定がある」と回答した。「喫煙歴がない」と回答した49名のうち、39名(79.6%)が「行った、行く予定がある」と回答した。



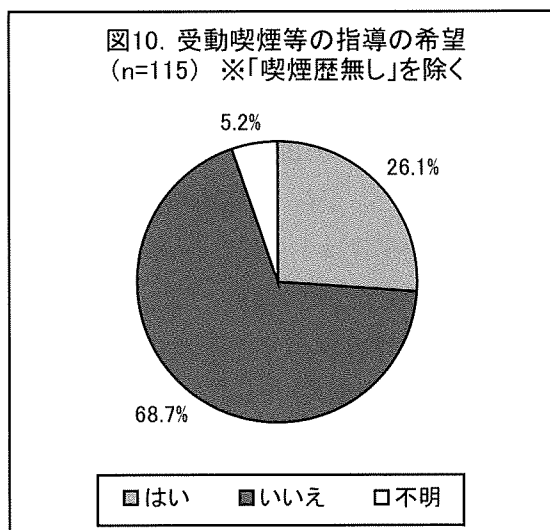
両親学級については、「喫煙習慣がある」88名のうち、61名(69.3%)が「行った、行く予定がある」と回答した。「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」と回答した27名のうち、12名(44.4%)が「行った、行く予定がある」と回答した。「喫煙歴がない」と回答した49名のうち、30名(61.2%)が「行った、行く予定がある」と回答した。



「現在喫煙している」88名と「以前は喫煙していたが、現在禁煙中である」27名の115名を対象に、「妊産婦健診で、喫煙の有無を聞かれたことがありますか」を尋ねたところ、「はい」と回答した者は14名(12.2%)であった。



次に、「今後、受動喫煙やタバコに関する知識、禁煙についての説明を受けられる機会があれば受けてみたいと思いますか」を尋ねたところ、「はい」と回答した者は30名(26.1%)であった。



D. 考察

本研究では、妊娠中の妻を持つ夫の喫煙行動に着目し、妻の妊娠を契機に喫煙行動が変化したか、変化の理由・内容についての調査を行った。併せて、受動喫煙等に関する知識、妊産婦健診・両親学級等への参加状況についても調査した。

鈴木ら（2008）が行った妊娠前後の妊婦の喫煙状況に関する研究においては、妊婦の喫煙状況には、夫・パートナーの喫煙状況が関連することが指摘されている。夫・パートナーが禁煙しない場合、その妻も禁煙しない割合が高く、夫・パートナーが出産後喫煙しているとその妻も禁煙継続できなかった者の割合が高いと報告されている。本研究においても、夫が喫煙している者において、妻が喫煙している割合が高い傾向がみられた。夫の喫煙による妊婦の受動喫煙のみならず、妊婦自身の喫煙に関する行動変容を促す場合には夫の喫煙行動が重要な因子となる。

妻の妊娠を契機に禁煙した者は 5 名であった。これは「喫煙歴がない」者を除く 115 名の 4.3%にあたる。禁煙以外の喫煙行動の変化があった者は、115 名中 63 名であった。約半数の者が妊娠を契機に喫煙行動が変化していた。喫煙行動が変化した理由として、「胎児への影響」「母胎への影響」をあげていた者が多くみられたことから、妊娠を契機とした自主的な喫煙行動変容は十分起こりえる。

本研究の分析対象においては、喫煙習慣の有無と受動喫煙の認識との関連はみられなかった。また妊産婦健診、両親学級等への参加状況についても喫煙習慣との関連はみられなかった。妻が妊娠中であっても喫煙を継続している夫は、妻の妊娠・出産に非協力的だと断定することは難しい。喫煙習慣がある者あるいはあった者 115 名のうち、妊産婦健診等において

喫煙習慣等を問われた者は 12.2%であった。一方で、受動喫煙等に関する指導を受けたいと考える者が 26.1%であった。妊娠を契機に自主的な喫煙行動の変容を「禁煙」につなげるためにも、妊産婦健診時・両親学級時に適切な禁煙指導・受動喫煙の害に関する指導などをより充実させていくことが重要である。

本研究は、自記式質問紙調査であるため、実際に喫煙行動が変化したのかを確認することは難しく、配布した調査表の回収率は 39.5%であるため、選択バイアスの影響は否定できない。また、妊娠を契機に禁煙に至った者は 5 名と少数であったため、喫煙行動に変容があったが禁煙には至らなかった者との比較はサンプルサイズの問題から困難であった。今後はこれらの課題について検討することが必要であろう。また、妊娠中の妻を持つ夫に対する禁煙指導・受動喫煙の害に関する指導を充実させることにより、実際に禁煙に至るかどうかについての実証的なフォローアップ研究を行っていく必要がある。

E. 結論

本研究の結果は以下にまとめられる。

- 1) 妊娠中の妻を持つ夫の喫煙率は 53.0%であった。
- 2) 妊娠を契機に禁煙した者は、喫煙歴がない者を除く 115 名のうち、5 名のみであった。
- 3) 妊娠を契機に喫煙行動が変化した割合は 54.8% (63/115) であった。
- 4) 喫煙行動の変化の内容としては、「喫煙本数が減った」が 63.5% (40/63) と最も多くみられた。
- 5) 妊産婦健診・両親学級等において喫煙に関する指導等を受けた者は 12.2% (14/115) であった。

【参考文献】

1) 鈴木茜、曾根祐子、太田有紀、瀬口のぶえ、中村敦子、三木弘美、増本綾子、小川知、野間裕子、倉本孝子、渡辺多恵子、磯谷恵美、樋口善之、原田正平、松浦賢長、山縣然太郎。(2008). 妊娠前後の喫煙に関する研究. 厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業) 健やか親子21を推進するための母子保健事業の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携によるシステム構築に関する研究、平成19年度 総括・分担研究報告書、120-132.

F. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

羽賀田千晶、青儀早耶、神戸乃梨子、中村優希、山田祐里江、野間裕子、倉本孝子、増本綾子、涌嶋嘉子、樋口善之、松浦賢長。(2010). 妊婦の夫における喫煙・タバコに関する意識調査. 第48回大阪母性衛生学会学術集会, 大阪.

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

資料 1

妊婦の夫における喫煙・タバコに関する意識調査

この調査は、妊娠中の妻をもつ夫の喫煙・タバコに関する意識調査であり、夫にお答えしていただくものです。

この調査の結果は、受動喫煙やタバコの害に対する意識についてなどの回答をまとめた数値として集計されます。

この調査結果は、今後の妊産婦さんを含めた家族への禁煙指導について考える資料となります。

御協力いただく皆さまには、喫煙についての質問にご回答いただきますが、調査票には、氏名を記入いただく必要はありません。回答者個人を特定することはありませんので、率直なご回答をお願いいたします。なお、質問項目の中にどうしてもご回答いただけない項目がありましたら、何も記入いただくなくても構いません。そのことによって、あなた自身の不利益になることはありません。調査へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

問 1. 現在おいくつですか。 () 歳

問 2. 妊婦健診へ行こうと思う、または行ったことがありますか？

1. はい 2. いいえ(問 4 へ)

問 2. で「はい」と答えられた方のみにお聞きします。

問 3. 妊婦健診に何回来られましたか？

初期(～23 週) () 回

中期(24～35 週) () 回

末期(36 週～出産まで) () 回

問 4. 両親学級や母親学級などの教室へ参加をされたことがありますか？

1. ない 2. ある() 回

問 5. 立会い分娩を希望していますか？

1. はい 2. いいえ

問 6. ご出産される予定の病院・クリニックは、施設内禁煙ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 7. あなたは喫煙されますか。(1つ○をつけてください)

1. 現在、喫煙している。(問 8 へ)
2. 以前は喫煙していたが、現在は禁煙している。(問 8 へ)
3. もともと喫煙しない。(問 10 へ)

問 8. いつから喫煙が習慣的になりましたか。()歳頃から

問 9. 妻は喫煙しますか。

1. 現在、喫煙している。
2. 妊娠前は喫煙していたが、現在は禁煙している。
3. もともと喫煙しない。

問 10. 受動喫煙について知っていますか。

1. はい(問 11 へ)
2. いいえ(問 13 以降のあてはまる質問にお答えください)

問 10. で「はい」と答えられた方のみにお聞きします。

問 11. 受動喫煙による影響にどのようなものがあるか知っていますか。(複数回答可)

1. 喫煙者の近くにいる人の健康に悪い
2. 子どもの健康に悪い
3. 妊婦や胎児に影響がある
4. その他()

問 12. 受動喫煙による母児への影響はいつ知りましたか。

1. 妻の妊娠以前から知っていた
2. 妻の妊娠を機に知った
3. その他()

問 13. 受動喫煙の母体への影響についてどこで知りましたか。(複数回答可)

1. 妊婦健診
2. 雑誌、新聞
3. テレビ
4. 母子健康手帳
5. パンフレット
6. インターネット
7. その他()

★ここからの質問は【A. 現在喫煙している】 【B. 以前は喫煙していたが、現在は禁煙している】と答えてくださった方々のみとなります。

★もともと喫煙されない方は、ここでアンケートは終了になります。
ご協力ありがとうございました。

【A. 現在喫煙している方への質問です。】

A-1. 妻の妊娠がわかる前に比べて、現在の喫煙行動に変化がありましたか。

1. 変化があった(A-2-1 へ)
2. 特に変化はない(A-3 へ)

次の2問は、A-1 で「変化があった」と回答された方のみにお聞きします。

A-2-1. どのような喫煙行動の変化がありましたか。(複数回答可)

1. 喫煙本数が減った
2. 禁煙グッズを使用している
3. 禁煙外来に行っている
4. その他()

A-2-2. 現在どのような場所で喫煙していますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 公共の場では喫煙しない | 2. 指定されている喫煙場所以外では吸わない |
| 3. 子どもや女性などがある場所では吸わない | 4. 周囲の人の了解を得る |
| 5. 特に気をつけていない | 6. その他() |

A-2-3. 喫煙行動を変えられたのはなぜですか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 胎児への影響が心配だから | 2. 妻や家族に言われたから |
| 3. 自分の健康が心配だから | 4. 母体への影響が心配だから |
| 5. 喫煙できる場所が少なくなったから | 6. 変わらない |
| 7. その他() | |

次の問は、A-1で「特に変化はない」と回答された方のみにお聞きします。

A-3. 喫煙する時に気をつけていることはありますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 公共の場では喫煙しない | 2. 指定されている喫煙場所以外では吸わない |
| 3. 子どもや女性などがある場所では吸わない | 4. 周囲の人の了解を得る |
| 5. 特に気をつけていない | 6. その他() |

☆ Aの方は、次に次頁の下部のC-1にお答えください。

【B. 以前は喫煙していたが、現在は禁煙している方への質問です。】

B-1. いつ禁煙をされたのですか？

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 妻の妊娠以前から禁煙していた | 2. 妻の妊娠を機に禁煙した |
| 3. その他() | |

B-2. なぜ禁煙をされたのですか。(主たるあてはまるものに1つ○をつけてください)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 胎児への影響が心配だから | 2. 妻や家族に言われたから |
| 3. 自分の健康が心配だから | 4. 母体への影響が心配だから |
| 5. 喫煙できる場所が少なくなったから | 6. 変わらない |
| 7. その他() | |

B-3. 妻の出産後も禁煙を継続できますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. はい(B-3-2へ) | 2. いいえ(B-3-3へ) |
|---------------|----------------|

次の問は、B-3で「はい」と回答された方のみにお聞きします。

B-3-2. なぜ禁煙を続けられそうだと思いますか。

(主たるあてはまるものに1つ○をつけてください)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 子どもに対する影響がよくわかったから | 2. 自分にとって悪影響だから |
| 3. もともと禁煙したかったから | 4. 喫煙場所が少なくなってきたから |
| 5. その他() | |

次の問は、B-3で「いいえ」と回答された方のみにお聞きします。

B-3-3. なぜ禁煙を続けられそうだと思いますか。

(主たるあてはまるものに1つ○をつけてください)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. イライラしやすくなったから | 2. ストレスがたまるから |
| 3. こどもの前で吸わなければいいと思うから | 4. 妻の前では吸わなければいいと思うから |
| 5. その他() | |

【A・Bの方にお聞きします】

C-1. あなたは今後、受動喫煙やタバコに関する知識、禁煙についての説明を得られる機会があれば、受けてみたいと思いますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

C-2. あなたは妊婦健診で、喫煙の有無を聞かれたことがありますか。

- | | |
|-------------|--------|
| 1. はい(C-3へ) | 2. いいえ |
|-------------|--------|

★妊婦健診で喫煙の有無を聞かれたことがない方は、ここでアンケートは終了になります。

ご協力ありがとうございました。

C-3. あなたはどのような禁煙についての説明を受けられましたか。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 口頭で禁煙についての説明を受けた | 2. 禁煙についてのパンフレット・冊子をもらった |
| 3. 喫煙に関してのビデオを見た | 4. その他() |

C-4. あなたが禁煙についての説明内容で最も印象が深かったことは何ですか。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 赤ちゃん・妻への影響について | 2. 喫煙以外の対処方法について |
| 3. 覚えていない | 4. 自分自身の身体に及ぼす影響について |
| 5. その他() | |

★アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表